

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

楽しい♪楽しい♪バス遠足 こどもの国で思い出作り

お母さんと一緒教室のバス遠足が9月20日(水)に行われました。お天気が心配されていましたが、雨も降ることなく、バスは学級生11人に乗せ、ぐんまこどもの国へ出発しました。

の教室のように点呼から始まり、元気よく返事をし、その後は先生と一緒に楽しく歌っていました。こどもの国に着いて、まず時計台の前で写真撮影をし、それから児童会館で紙コップと針金を使ってア二



▲楽しい旅のスタート♪

マルメガホンを作りました。装飾はそれぞれ自由に仕上げていました。工作の後は外の遊具で自由に遊びました。葉っぱ屋さんごっこをしたり、砂をご飯に見立てて一緒に食べるマネをしたりと仲良く遊んでいました。お昼はレストハウスでお弁当をみんなで食べました。お母さんの作ったお弁当をみんな美味しそうにおなかいっぱい食べていました。午後は、児童会館のサイエンスワンダーランドで遊びました。目新しい遊具やゲームがたくさんあって、夢中になっていました。お母さんとお子さんたちにとって良い経験になったことでしょう。



▲遊具に夢中



▲会心の出来にご満悦♪



▲親子で楽しむ



▲ハイできたあ～

みんなで作ろう
文化祭実行委員会

笠懸地域文化祭第2回実行委員会が9月26日(火)に開催されました。

全体会の主な協議事項では、これまでの各部会の進捗状況やポスター完成等の報告がされました。

各部会では、当日までの流れ、役割分担の確認が行われました。

日頃の活動成果の発表の場として、また地域活性化の場として市民で作らなければならない文化祭です。今年10月



▲全体会の様子

14日(土)

・15日

(日)の二

日間で開催

されました。

企業

・ス

・テ

・展

・各

等の各

イベントは

素晴らしい

時間が過ぎ

すことができました。

そんな文化

祭も危機に

陥っています。

ここ数年、

サークルの

減少・役員

のなり手不足・

ポスター

応募数の

減少等の

課題が改

めて浮き

みどり市

公民館大

会実行委

員会が9

月6日に

開催され



▲今年の文化祭ポスター

公民館活動の魂
つどろ・まなぶ・むすぶ

みどり市公民館大会実行委員会が多世代交流館で9月6日に開催されました。これまでに「公民館とは何か」について話し合いを進めてきました。

利用者の会同様に『つどろ・まなぶ・むすぶ』が大切であるとの意見が実行委員会できちんと一致し、その中

彫りになっていきます。これらの課題と真摯に向き合い、来年も素晴らしい文化祭が開催されることを願います。

※文化祭の詳細記事は、次号(195号・11月30日発行)で掲載予定です。楽しみにお待ちください。

『つどろ』ことから公民館活動が始まり、そのことを深めることが必要なのではないかということになりました。

公民館大会の流れについて決まりました。

①全体会

・みどり市歌の斉唱

・講演会

・分散会

詳しい内容については次回に持ち越されました。

再開を願って

喫茶ぺちやくちや

笠懸公民館内の憩いの場として親しまれてきた「喫茶ぺちやくちや」の今年度中の休業継続が決定しました。

「喫茶ぺちやくちや」は、館内1階ロビー脇に位置し、みどり市身障者連盟が主となり営業するなど、障がい者の社会参加を推進することも目的としています。しかし、コロナ禍に伴う公民館利用者が減少したことや、ロビーが新型コロナウイルスのワクチン接種会場として使用され、集客が困難となったことなどが休業の一因となりました。

今年4月に一度営業を再開したものの、従事者の確保が困難なことや、直後にロビーがワクチン接種会場として使用されたことなどに伴い、再び休業に入りました。

このような状況を顧み、9月6日(水)に開催された「喫茶ぺちやくちや運営委員会」において、年度内の営業再開が見送られることとなりました。

それでもなお「喫茶ぺちやくちや」の再開を心待ちにする公民館利用者からの声は根強くあります。多くの課題があるとは思いますが、関係団体が協力し、運営再開に向けて動き出すことを願っています。

またコーヒーとワッフル

を食べたいなあ。

▲コーヒー&ワッフルのセット



▲コーヒー&ワッフルのセット

身体も頭も元気に暮らそう

元気の秘訣

高齢者大学第3講

9月12日(火)、高齢者大学第3講がグンエイホールPA1(笠懸野文化ホール)で開催されました。

今回は「いつまでも元気に生活しよう」というテーマで、管理栄養士・健康運動指導士の石井秀子さんが講師です。

病気は自分で治すことが大切です。そのためにはきちんと栄養を摂る、食塩は必要以上に摂らないなど食に気をつけること、正しい姿勢やストレッチによって健康な体づくりを行うことが大切と話していました。また、それが、前回(第2講)のテーマでもあった認知症予防にもつながるとのことです。



▲講師：石井秀子さん

最後は、実際にストレッチのレクチャーもあり、受講生は熱心に取り組んでいました。

WEBで脳トレ 認知症予防教室スタート

市介護高齢課主催の認知症予防教室が9月6日(火)から始まりました。これから11月末まで述べ13回(座学9回、オンライン4回)の盛りだくさんの内容となっています。

講師は(株)ジーシーリースタッフの小平さんです。はじめに貸し出し用のタブレットを使っての基礎操作の学習です。電源の入り切りから始まり、「タップ」

「ダブルタップ」「フリック」「スワイプ」など耳慣れない用語が出てきます。スマホを使っているヒトは応用して操作していましたが、初めてのヒトには難しいようです。

教室の初日はタブレットの操作でしたが、次回からはLINE公式アカウントとWEBサイトを活用した「脳若365」に取り組みようです。毎朝1つの課題が送られてくるので、脳を働かせ、認知症予防に繋がります。「脳若365」で



▲スマホで脳を鍛えよう

のトレーニングによって、生き生きとした生活と、そして自分らしく過ごせることを実感できる日は、そう遠くではないでしょう。

発展に向けた意見交換

こどもまつり実行委員会

9月15日(金)、第36回みどり市笠懸地域こどもまつり第3回実行委員会が開催されました。

議論の焦点は、来場者数の減少と小学生高学年の参加率低下、当日の暑さへの

対策、そして子どもたちがより楽しめるための企画内容の見直しについてでした。委員からは開催日程の見直しや企画の充実など、様々な改善策が提案されました。今回の議論が次年度のさらなる成功に繋がることが期待されています。

コラム豆電球



「白バイはなぜ白？」

警察が初めて交通取り締まりにオートバイを導入したのは大正7年のことと、都内3か所に1台ずつ配備された。当時、警察に配備されたオートバイは赤く塗られていたため「赤バイ」と呼ばれていたそう。

らといわれている。また、白は「平和と清潔」をあらわす色であり、白バイ隊員は、交通事故のない安全で快適な交通社会をつくるために活動する「平和の騎士」という意味を込めて白を使うようになったともいわれている。

赤バイが色を白に変え白バイとして再登場したのは、昭和11年8月。当時の台数は32台。オートバイの色を赤から白に変更した理由は、欧米各国に配備されているオートバイがすべて白かったか

なお、現在は、警察で緊急自動車として使用されるオートバイの色は白と法律で決められている。ちなみに、パトカーが現在のような黒白ツートンカラーに統一されたのは昭和30年。国内を走っている車の色がほとんど白だったため、パトカーだと一目でわかるように白黒に塗り分けたようだ。

「いい」の広場
大正琴コンサート

第127回「いい」の広場が、9月17日(日)笠懸公民館1階ロビーで開催されました。今回は、琴瑛会(6区)、琴藤会(10区)、花みずき会(2区)の3部会の皆さんの大正琴コンサートです。3部会が連合になって27年、それぞれの区で月2回練習しています。練習の成果を、公民館での「いい」の広場や「カタクリさくらまつり」でのコンサートで披露することを励みに日々頑張っています。

連合会長の新井さんは「コロナの為、4年ぶりとなりました。皆さん知っている曲ばかりなのでどうぞ□ずさ話していました。各部門合わせ「思い出酒、古城、世界は二人のために、恋の季節、祝い船」など、全17曲を披露しました。
ロビーに響く琴の音が美しく、軽やかに流れて大勢の観客を魅了していました。終了後、アンコールの声にこたえて「みんなの手をたたこう」を弾きました。



▲館内に響く爽やかな演奏♪

英語で主張！アメイジング！
中学校英語弁論大会

第18回みどり市中学校英語弁論大会が9月7日(日)、笠懸公民館交流ホールで行われました。

笠懸公民館で開催されるのは4年ぶりです。みどり市内中学校5校の代表者9人が出場しました。

スピーチは環境や文化、自分のことなど多岐に

わたった内容で、ジェスチャーを交えて表情豊かに表現していました。審査は、各中学校のA・L・T(外国語指導助手)や、高校・市教育委員会の先生方の8人が行いました。

ものおじせずに自分の主張を明確に英語で話す姿は堂々としていました。

受賞者は次の通りです。
1位 樋口 鈴華さん

(大間々中)

- 2位 野村 悠人さん (笠懸南中)
- 3位 峯岸 花歩さん (笠懸南中)



▲野村さん・樋口さん・峯岸さん

みどり市笠懸公民館・みどり市市民講座運営委員会 主催

令和5年度 みどり市市民講座 「地元の先人に学ぶSDGs」

～私たちのミライのために学ぼう、みんなで～



受講者募集

第3講

「食を通して心と体に栄養を」※講演

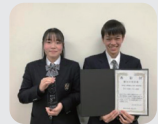
講師：料理研究家 北村 裕美子 氏
日時：11月30日(木)
19:00～21:00



第2講

「高校生まちづくりコンテスト
観光庁長官賞受賞
わ鐵を核とした観光促進プラン」

講師：大間々高校みらい塾生徒
日時：11月11日(土)
15:00～16:30



第4講

「群馬県産バナナの生産・販売について
—SDGsの観点から—」

講師：太田資源開発(株) 中神 洋二 氏
日時：12月14日(木)
19:00～21:00



【問合せ・申込先】笠懸公民館 TEL：0277-76-2211

E-mail：kouminkan@city.midori.gunma.jp →



※詳細はホームページをご覧ください →



心揺さぶるハーモニー 4年振りに披露

笠懸野合唱団による第13回演奏会が9月10日(日)、笠懸公民館交流ホールで開催されました。

第一部の終わりには来場者と一緒に「遠くへ行きたい」「村祭り」を合唱し、第二部の初めには合唱団の指導者でソプラノ歌手の佐藤貴子さんによる「You Raise Me Up」「ゴンドラの唄」の独唱など、4年ぶりの演奏会は満席です。すてきな歌声の全11曲をたくさんの方が楽しみました。



▲美声にうっとり♪

エンジョイ！ホビー！ 模型展示会

サンデークラブ主催「第36回サンデークラブ模型展示会」が9月30日(土)と10月1日(日)の2日間、笠懸公民館ふるさとギャラリーで開催されました。

防災を考える 35 備えあれば憂いなし

9月16日(土)みどり市東運動公園で行われた「令和5年度群馬県総合防災訓練」に参加してきました。陸上自衛隊、群馬県警察など約69機関・団体が参加。自然災害の発生を想定し、各防災機関の協力のもと、被害想定や



群馬県総合
防災訓練(R5)
QRコード
【YouTube】

地域の特色を考慮した実動訓練です。この模様はYouTubeで視聴できます。ぜひ一度ご覧ください。また、災害ボランティアセンター設置・運営訓練も行われました。



▲製作談議に花が咲く

ガンダムや飛行機、車のプラモデルが整然と並び大勢の来場者の目を惹きつけていました。
サンデークラブは会員数15人、歴史が長く月に一度はプラモデルを持ち寄ったり情報交換し交流を深めているそうです。「昔は飛行機や戦車等が主流だったが、若い人たちはガンダムが多いですね」と会長の上条さんは時代の流れを語っていました。
ゲストコーナーでは会員ではない方の当日持ち込みのガンダムも飛び入り参加していました。
見ごたえのある楽しい空間でした。

リングキーホルダー教室

好きなパーツをレジンでつけて
オリジナルキーホルダーを作ろう♪



—中高生ボランティア募集—

期末テストが終わり一息ついた12月、ボランティアに挑戦してみませんか？



①【事前講習】12月3日(日) 10:00 ~ 11:30

講師からリングキーホルダーの作り方を教わります。
※講習で作ったリングキーホルダーは持ち帰れます。(無料)

②【本番】12月17日(日) 9:30 ~ 12:30

受付や小学生の製作のお手伝いをします。

教室詳細

◇日時 12月17日(日) 10:00 ~ 12:00
◇会場 笠懸公民館 美術工芸室
◇定員 18人
◇対象 市内小学生
◇参加費 600円
◇申込方法 笠懸公民館窓口、または電話・メール
①名前②学校名・学年③住所④電話番号
◇申込期間 11月14日(火) ~ 12月8日(金)

募集要項

○会場 笠懸公民館 美術工芸室
○募集人数 6人
○対象 市内在住・在学の中中学生・高校生で2日間ともに参加できる方
○申込方法 笠懸公民館窓口、または電話・メール
①名前②学校名・学年③住所④電話番号
○申込期間 11月11日(土) ~ 30日(日)

庄巻のパフォーマンス サーカスフェスタ

9月24日(日)、グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で、開館30周年記念事業の一環として、「サーカスフェスタ in みどり」が開催されました。みどり市には日本で唯一



▲一輪車で綱渡り!!

マー、アーティスト、インターティナーとして活躍しています。開演前にみどモスを連れて登壇した須藤市長からは

のサーカス学校、沢入国際サーカス学校(NPO法人国際サーカス村協会運営)があります。今回のショーで見事な芸を披露してくれた人たちのほとんどがこのサーカス学校出身で、国内外のサーカス、テーマパークはもちろん世界中のストリートでプロのパフォー

地区公民館だより⑤

笠懸町第5区

笠懸五区公民館は、平成16年3月に現在の場所に新築移転されました。公民館の周囲には、日本列島で初めて旧石器時代が証明された岩宿遺跡、自然に恵まれた琴平山、稲荷山、鹿田山や、四季折々の景色を堪能できる鹿の川沼などに隣接しています。毎日のように

地域の皆さんが公民館を利用し、活気ある「コミュニティ」が広がっています。年次行事では、夏の風物詩である納涼祭、真っ赤なお鼻のトナカイと白髭のサ

ンタクロースに会えるかもしれないクリスマス会、一年の抱負を書にする書初め大会などが行われます。防災対策では、地域の皆さんが参加する自主防災訓

「PALの舞台がシルク・ドゥ・ソレイユのようになつてほしい」とあいさつの言葉がありました。開演するといずれもすばらしい技の数々に万雷の拍手が響き渡ります。一輪車で綱渡りするスラックワイヤー、天井から吊るした布で空中を舞うエアリアル

ティシュー、軟体曲芸から矢を射るアーチェリーコントーション等々、華麗な技が観客を魅了しました。75分と少々短い時間でしたが、入場者をまったく飽きさせることなく、特に小さいお子さんたちは大満足の様子でした。



▲卓球で交流 (5区公民館)

練を実施しています。今後、も皆さんのより良いコミュニティ広場を目指します。

こえの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

上毛かるた①

御朱印レディー

滝は吹割 片品溪谷

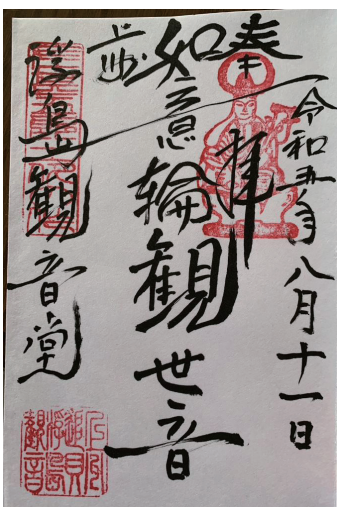
片品溪谷は、沼田市利根町の片品川の中流部にあります。その魅力は、清らかな水の流れ、不思議な形をした奇岩や滝が織りなす自然の美しさ。また火山活動が活発な時代に、吹き出した火砕流が固まって岩盤となり、さらに長い年月をかけて川の流れに削られたことで、独特の景観、四季折々の表情が見られます。滝の大きさは、高さ7



▲東洋のナイアガラ・吹割の滝

メートル、幅30メートルにおよび、「東洋のナイアガラ」とも言われ遊歩道が整備されています。また、竜宮伝説もあり、滝壺は竜宮城へ通ずるところと昔から今も語り継がれ、とても神秘的です。

そんな滝の上の浮島橋を渡ると浮島観音堂が見えます。受付にて直書きで御朱印が頂けます。



▲浮島観音堂の御朱印

受付にて直書きで御朱印が頂けます。

テフテフお城歩き(42)

本佐倉城 歩遊人

本佐倉城は千葉県にある
 続日本100名城のひとつ。
 文献によれば千葉氏の本拠
 地は千葉城でしたが、享徳
 の乱(1454年)に端を
 発した内紛が発生。文明年
 間(1469〜87)に千
 葉輔胤が本佐倉城を築城し
 て本拠地としたといえます。
 その後、3代勝胤の時最盛

期を迎え、下総の政治、経
 済、文化の中心地となつた
 ようです。

しかし、天正18年(1590)、豊臣秀吉の小田原
 征伐において北条方に味方
 し破れ滅亡してしまいました。

城址は京成電鉄大佐倉駅
 から徒歩15分のところにあ
 りました。田園地帯の小高
 い丘を利用して作られてい
 ました。散策ルートはよく
 整備されていました。東山
 虎口から東山馬場へ、



▲本佐倉城跡

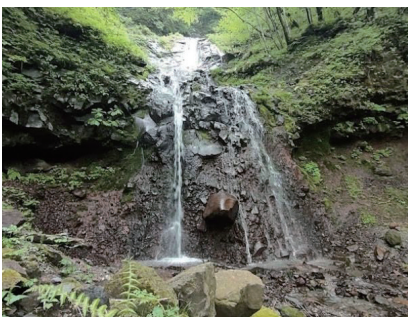
ここから筑波山が望
 めます。当時、印旛
 沼は直ぐ近くにあつ
 たようです。そして、
 大堀切を越えて城山
 郭と呼ばれる天守跡
 へ。奥ノ山は妙見郭
 とも呼ばれ、本佐倉
 城の5代と8代の城
 主はここで元服した
 とありました。

本佐倉城跡案内所
 で映像によるレク
 チャーを受けた後歩
 きました。戦国時代
 の栄枯盛衰を噛みし
 めて。

行ってみたい!!

まるみ

滝レディーさんおすす
 め黒保根町の「山崖の滝」に
 行ってみたい。利平茶屋森林
 公園の駐車場から歩くこと
 30分くらい。岩や倒木にコ
 ケが生えて緑の空間がみ
 ずみずしく気持ちよかつ
 た。石ころの道を気を付け
 ながら行くと、見えてきた
 ！斜めの崖の段差を白い
 しぶきとともに流れ落ちる
 優しい感じの滝。きれいな
 ♡。夫は中学生の頃、利平
 茶屋駅から出ていたケーブ
 ルカーに乗って大沼のス
 ケート場に行ったことを思
 い出し、記憶捜査ができた
 と喜んでいた。滝レディー
 さんありがとう！



▲きもちい〜

四季の会 十月句会



運動会はしる児追ふや秋あかね
 とうがらし丸ごと吊るす軒の下
 やつと寝た児らの寝息と秋の声
 久に酌むバンド仲間と月の宴
 ガラス戸を開けて初秋の風通す
 イナゴとる婆のあと追ふ吾子のタモ
 栗ごはん認知の夫と昼の膳
 踏みつけて実を確かむる栗まろし
 秋の蝶幼なころを懐かしむ
 此処もまた空き家の庭の竹の春
 秋の海浜辺で見らとゴミ拾い
 柿の実の色づく庭を眺めをり
 伯父のこと母と語るや秋の夜
 三味線の稽古いそしむ秋日和
 木犀の香りただよふ厨窓
 組合の会議すませて今年酒
 いのししに追はるる猫や過疎の村
 古着屋の看板見へず金木犀
 行く秋やお国訛りの峡の村
 秋澄むや骨董市の人だかり
 扇状地いね刈る田んぼ老夫婦
 七草の花を探して秋の寺
 リハビリにいそしむ秋の日和かな
 新米を妻の実家で貰ひをり
 白菜の苗買ふ老舗夫を連れ
 松茸を食せし父の七七忌
 カラオケの発表会や走り蕎麦
 夫逝きてどっと疲れが秋の夜
 かたつぶり少し疲れて秋を這ふ
 忘ること時に必要とろろ汁
 幼き日母のおもひで濁り酒
 みずうみに小舟ポツンと秋の風
 下り梁さいごの鮎のフルコース

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|---|----|----|----|----|---|---|-----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|---|----|
| 櫻本 | 千春 | 国木 | 美代香 | 中野 | 千鶴 | 宇野 | 順雪 | 泉 | 純佳 | 松島 | 陽春 | 平川 | 秋桜 | 佐藤 | 由美香 | 高野 | 春蝶 | 中谷 | 邦女 | 金井 | 英磨 | 高野 | 光詢 | 細川 | 由桂 | 川道 | ひさ女 | 前原 | 紫蘭 | 童 | 鳥海 | 糸井 | 梅光 | 横倉 | 雅 | 韓 | 百日紅 | 新羅 | 光海 | 石原 | 青蓮 | 冠 | 二郎 | 徳田 | 夕子 | 細川 | 和勘 | 糸井 | 初音 | 小林 | 狐一 | 山本 | 舞華 | 小林 | 華笑 | 楳沢 | 春蘭 | 宇野 | 由希子 | 村田 | 小町 | 宇野 | 勘大 | 金 | 光月 |
|----|----|----|-----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|---|----|----|----|----|---|---|-----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|---|----|

列車にゆられて(64)
豊橋鉄道 渥美線
野利 哲

豊橋鉄道渥美線はJRの豊橋駅に隣接して、新豊橋駅から三河田原駅までの18・0 Kmを約35分で結んでいます。全線電化の単線区間で、毎時15分ごとに発車しています。住宅街を抜け、ひたすら郊外に向かって進みます。変化の乏しい車窓でカッターコットンと車輪をききませながら走っていました。

渥美線は渥美半島を縦貫する鉄道として、1922(大正11)年、渥美電鉄が設立され、1924(大正



▲渥美線 カラフルトレイン「しでこぶし」

13)年、高師(豊島間が開業しました。1927(昭和2)年までに新豊橋までレールが繋がったようです。1940(昭和15)年、名古屋鉄道に合併されましたが、1954(昭和29)年、渥美線新豊橋駅(三河田原駅が豊橋鉄道に譲渡され現在に至っているといえます。車両は3両が1編成で「渥美線カラフルトレイン」となづけられ、渥美半島の花々がデザインされたカラフルな車両でした。

車両は元東急電鉄の7200系で渥美線では1800系と改称され、車番1801「ばら」、1802「はまゆづり」、1803「つじ」、1804「ひまわり」、1805「菖蒲」、1806「しでこぶし」、1807「菜の花」、1808「椿」、1809「桜」、1810「菊」で、各車両はヘッドマークを掲げ、車体は花模様が色彩豊かに描かれていました。時間がなかつたので田原町内を散策できませんでした。次を訪れる楽しみと



▲1日フリーキップはペーパークラフトに!!

笠懸短歌サークル

九月例会より



雲かかりスパームーン見はぐるも十六夜の月晴ればれと見ゆ
夏祭りはず甚平の孫娘肩車の上身ををどらせる
運転免許無事返納の祝日は好物のうなぎと一合の酒
落雷の被害を受けてはじめての経験をする人生いろいろ
雨乞ひと戯れて芝水撒きにしが陽の落つるとも雲一つ出でず
迎へ火を時かけて焚くおとうとが初の家路に迷はぬやうに

- 上村 征子
- 加藤 康子
- 久保田茂子
- 近藤ふさ子
- 関口 定夫
- 平山 勇

◆運賃

新豊橋駅(三河田原駅)片道 520円
お得な一日フリーキップ 通年発売 1100円



ちょっと一息



10月31日は、日本でも少しずつ認知度が高まってきた「ハロウィン」です。言わずと知れたアメリカのお祭りですが、ここ数年で日本でもかぼちゃのランタンや仮装といった風景が街を彩るようになりました。

数十年前まで、日本ではお正月や七夕などの行事に目が向き、ハロウィンのような海外の行事は遠い存在だったように記憶しています。

しかし一方で、昔は日本ではあまり馴染みのなかったクリスマスも、今では大切な年末の行事として定着しています。ちよいと考えてみれば、文化の流入というのは新鮮で面白いものですね。

時代の移り変わりとともに、海外の文化を積極的に取り入れることで、より多様な楽しみ方が増えているのだと改めて実感した今日この頃です。